

千葉県福祉サービス第三者評価の評価結果
(放課後児童健全育成事業版)

1 評価機関

名 称	有限会社エテルノ
所在地	東京都台東区台東三丁目2番5号 大林ビル2F
評価実施期間	2024年 8月 6日～2025年 2月 28日

2 受審事業者情報

(1) 基本情報

名 称 (フリガナ)	袖ヶ浦西小学校地区放課後児童会 ソデガウラニシショウガッコウチクホウカゴジドウカイ		
所在地	〒275-0021 千葉県習志野市袖ヶ浦1丁目1-1		
電 話	047-451-5070	F A X	047-451-5070
ホームページ	https://www.serio-corp.com/		
経 営 法 人	株式会社セリオ/習志野市		
開設年月日			
敷地面積	m ²	教室面積	135m ²
施設・設備の概要	(居室数) 2	(設備等) 児童会室・プレイルーム	
併設しているサービス	放課後子供教室		

(2) サービス内容

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計		
定期利用(人)	14	12	11	3	2	1	43		
土曜日のみ利用(人)									
学校休業期間中のみ利用(人)			1						
受入れ内容 (〇を付けてください)	延長利用	一時利用	夜間利用	アレルギー児対応					
	障害のある子ども	外国人児童受入れ	その他 ()						
健康管理	健康カード、毎日の観察								
おやつ	毎日メニューを決めて提供、特別おやつ、ご当地おやつ								
利用時間	平日 放課後～19:00、一日保育8:00～19:00								
休 日	日曜、祝日								
地域との交流	子供教室との連携、ボランティアの受入れ								
保護者会活動	保護者会なし								

(3) 職員（スタッフ）体制

職 員(人)	常勤職員	非常勤、その他	合 計	備 考
	2	6	8	常勤は社員
専門職員数(人)	保育士	学童支援員	放課後児童支援員	
			5	
	社会福祉士	教員免許	その他専門職員	
		3		

(4) サービス利用のための情報

利用申込方法	新規利用については自治体へ申請書提出	
申請窓口開設時間	自治体管理	
申請時注意事項	自治体管理	
サービス決定までの時間		
利用相談	10:00～19:00（施設・会社）	
利用料金	自治体管理	
おやつ料金	振込申請書を施設より保護者へ配布、会社の管理課にて支払いを管理	
苦情対応	窓口設置	習志野市（児童育成課） 株式会社セリオ（施設長・エリア担当）
	第三者委員の設置	必要に応じて

3 事業者から利用（希望）者の皆様へ

サービス方針 (理念・基本方針)	<p>【放課後事業部 運営理念】 子どもたちが、安全で安心して 過ごせる場を提供するとともに、 未来に向けて子どもたちの”生きる力”を育み、 たくましく生きる子どもの成長を支援します。</p> <p>【放課後事業部 運営方針】 ①毎日の活動を通して、礼儀・あいさつ・言葉づかいなどの道徳心や社会性、自立心を育成します。 ②毎日の学習習慣とともに自分で考える力を育成します。 ③異学年の友だち、地域社会との交流により、通常の学校生活では関わりの少ない人々との関係を通じて、コミュニケーション力や社会性を育成します。 ④指導員が積極的に子どもたちと関わり、常に子どもの個性を肯定的にとらえ認めることで、子どもの自己肯定感とやる気を育成します。 ⑤子どもの権利を尊重し、差別やいじめ、暴力を排除します。</p>
特 徴	<p>全国の公設民営実績・経験を活かして、自治体からの委託で運営。自治体、小学校、地域と連携して、安全でいきいきと過ごせる場所を設け、遊びや学びを通じて子どもたちの成長を支えていきます。さまざまな学びや遊びを通して、子どもたちの健やかな成長を支援するセリオの放課後事業。多くの自治体や私立小学校から各種放課後施設の運営を受託しており、豊富な経験とノウハウを基に、子どもが楽しく安全に放課後を過ごせる場所を提供。</p>

<p>利用（希望）者 へのPR</p>	<p>子どもたちが笑顔で「明日も来たい!」と実感できる運営を行うために</p> <p>小学生の放課後の時間は、さまざまな遊びや体験活動を通じて、子どもたちの生きる力が育まれる貴重な時間です。わたしたち職員が一人ひとりに寄り添い、笑顔あふれる放課後となるよう取り組んでいます。理念、方針をもとに、全ての施設が年間の事業計画を立てて、行事計画や防災計画、成長支援のポイントと成長のねらいを明確にし、全職員が同じ考えをもって取り組むことに繋がっています。</p> <p>【最も大切にしていることは日常の保育、育成による成長支援】 職員は子どもたちと信頼関係を構築し、子どもたち主体となり安心して過ごせる居場所にすることが重要です。さまざまな体験活動による学び、生活の中で見通しをもてるような支援、そして異年齢集団におけるお互いの思いやりの心や学びも大事にしています。</p> <p>【子どもたちの「やりたい」という想いを「次はどうしよう」と新たな探求へと発展する取り組み】 子どもたちが中心となり実施するこども会議の実施。行事の企画を一から行います。達成感や満足感を得られるよう職員がフォローし、子どもたちの意見の反映を大事にしています。行事は放課後子供教室との合同プログラムも企画します。両事業の連携し、放課後が充実した時間となるよう運営を行います。</p> <p>【特別な支援が必要な子どもについて、その子の特性に合わせた配慮、接し方を実施】 学校、保護者を含めた連携・共助を大切に、子どもたちが共に学び、共に育つことをめざしています。当法人では元校長や支援児対応に特化した統括指導監、看護師を雇用し、人権や児童対応等に関する職員研修を担うことで、さまざまな個性や環境に対応できるよう職員の質の向上に努めています。</p> <p>【安心・安全な施設づくり】 職員の安全管理と子どもたちへの安全指導の両方が必要です。職員の意識を高め、子どもたちと共に取り組みます。運営事業者としての責任、自覚を持ち質の高い運営を行うために、保護者の皆様のご理解、ご協力、そして小学校や地域との連携を大事にしています。</p> <p>日常的に子どもたちへ寄り添い、話を聞き、子ども同士の輪を広げ、意見が尊重されるような支援を大切にします。未来を担う子どもたちが楽しく、明日も来たいと感じられ、そして生きる力を育める施設運営をめざします。</p>
-------------------------	---

福祉サービス第三者評価総合コメント

特に力を入れて取り組んでいること
全職員が理念と基本方針を理解し、教育や研修に力を入れることで安定した運営に繋がっている
当施設は、理念と基本方針を明確に文書化し、広く周知している点が非常に評価される。職員全員が入社時に理念と基本方針を理解し、定期的を確認することで、統一された行動規範のもとで業務を遂行できる体制が整っている。また、経営環境や福祉サービスの現状分析を行い、具体的な課題を明確にする取り組みも素晴らしい。特に人材不足に対して専門の採用課を設置し、経営層が直接採用状況を把握・管理する体制を構築している点は、迅速な対応と改善が期待される。さらに、職員の教育・研修に力を入れ、質の向上を図る取り組みも高く評価される。定期的な研修や会議を通じて、職員間の情報共有と意識向上が図られており、安定した運営が実現されている。
保護者や地域社会に対して透明性の高い運営を行い、質の高い福祉サービスに取り組んでいる
当施設は、理念や基本方針を広く周知し、保護者や地域社会に対しても透明性の高い運営を行っている点が非常に評価される。入会説明時に保護者へ理念や基本方針を丁寧に説明し、十分な理解を促していることは、保護者にとって安心感を与える要素となっている。また、事業計画の内容や実施状況について、保護者向けの活動報告会を開催し、視覚的に分かりやすく説明する取り組みも素晴らしい。さらに、地域との連携を強化し、子どもたちが地域社会と積極的に交流できる環境を提供している点も高く評価される。保護者や地域社会との信頼関係を築き、質の高い福祉サービスを提供するための取り組みが、利用者にとって大きな安心と満足をもたらしている。
放課後児童クラブの質の向上に関する取り組みを組織的に行い、PDCAサイクルに基づいた運営を徹底している
当児童会では、放課後児童クラブの質の向上に関する取り組みを組織的に行い、PDCAサイクル(Plan-Do-Check-Act)に基づいた運営を徹底している。事業部内には質の向上に特化した統括指導監や看護師を雇用し、研修計画から講師を担いつつ巡回指導を行っている。年間の研修カリキュラムを設定し、外部講師を含めた毎月の研修を実施している。本部には各自治体に1名の専任担当を配置し、日々巡回や自治体対応窓口として施設を支援している。定期的な救命・AED講習やアレルギーの研修も開催し、安全性の確保と質の向上に努めている。毎月の責任者会議やエリア会議では、横のつながりを強化し、事故再発防止や質の向上に向けた取り組みを行っている。事業部の正社員定着率を90%以上の高水準で維持することで、安定した運営を実現している。自己評価は年に1回以上行い、第三者評価も定期的に受審している。
子どもが楽しく児童会に通えるように遊びの環境を整え、有資格者を適切に配置し、必要な時に必要な支援ができるように体制を整えている
児童会で使用できる部屋は二部屋あり、適度に人数を分散させて過ごすことができる。一つはプレイルームとして、ゴムボールでのドッジボールなど、子どもが体を動かして遊ぶ活動にも使用している。学校の特性上、支援級児童の利用も多いため、有資格者を適切に配置し、必要な時に必要な支援ができるように体制を整えている。毎日職員ミーティングを行い、前日の子どもの様子、保護者からの連絡事項を共有した上で子どもたちの受け入れを開始している。子どもたちから出てくる他愛のない会話、言葉遣いにはよく耳を傾け、今の子どもたちの心身の状況を拾い上げることを職員全体で心掛けている。そのため、子どもの姿の共有はエピソードを交えながら行っており、職員間での子ども理解に繋がっている。

さらに取り組みが望まれるところ

職員の教育や研修に力を入れているが、研修内容の充実が望まれる

当施設では、理念と基本方針を明確に文書化し、広く周知している点は評価されるが、職員の意見をより積極的に反映する仕組みが求められる。職員会議や面談を通じて意見を集約する取り組みは行われているが、実際にどの程度意見が反映されているかについてのフィードバックが不足していると感じられる。また、経営層が直接採用状況を把握・管理する体制は評価されるが、現場の職員が感じる課題や改善点についても、より具体的な対応が求められる。さらに、職員の教育・研修に力を入れている点は評価されるが、研修内容が現場のニーズに合っているかどうかの検証が必要である。職員のスキル向上とともに、現場での実践に役立つ研修内容の充実が望まれる。

子どもたちがより多くの経験を積むことができる環境を提供し、保護者や社会との信頼関係を築くための対応にも力を入れていきたい

当施設では、理念や基本方針を広く周知し、保護者や地域社会に対して透明性の高い運営を行っている点は評価されるが、利用者の意見をより積極的に取り入れる仕組みが求められる。保護者向けの活動報告会やアンケート調査を実施している点は評価されるが、具体的な改善策や対応についてのフィードバックが不足していると感じられる。また、地域との連携を強化している点は評価されるが、地域社会との交流やイベントの機会をさらに増やすことで、子どもたちがより多くの経験を積むことができる環境を提供することが望まれる。さらに、保護者や地域社会との信頼関係を築くために、より丁寧な対応や情報提供が求められる。

<評価を受けて、受審事業者の取り組み>

第三者評価内容により、運営の規定や方針等、施設運営における強みや反省、そして課題がより明確になった。

保育の基本方針・安全基準やそれに伴う対応等については良い評価が得られている部分は、これまで積み重ねてきた成果と今後の自信へとつながるものとなった。特に、こども一人ひとりに寄り添った保育の質は高い評価となっている。個別の対応はもちろんのこと、配慮の必要なこどもたちもインクルーシブに違和感なく生活できる空間づくりや支援も職員全員で取り組んでいる。こどもたちの主体性を育むことについては、当法人が重要視している部分であり、全職員が同じ対応が取れるよう周知を徹底することで、こどもたちに良い影響が出ていると感じた。

逆に課題の部分として地域との連携がある。保護者とのコミュニケーションとして、イベント等を年間に複数回実施しているものの、連携して行えているとまでは言い切れない部分がある。今後は、これまで以上に子供教室と連携し、地域ボランティアの繋がりを強め、施設運営に反映できるよう努めたい。

放課後児童健全育成事業 【共通評価基準】

貴事業所の実態やサービスの質については、コメントに記載しています。

【評点基準】

「a」…… 標準項目をすべて満たした状態

「b」…… 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態

「c」…… 標準項目をひとつも満たしていない状態

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が放課後児童クラブ内の文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、放課後児童クラブが実施する福祉サービスの内容や特性を踏まえた放課後児童クラブの使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	当放課後児童クラブ(以下、当施設とする)では、理念と基本方針を文書や広報媒体(パンフレット、ホームページ等)に明記し、広く周知している。理念は、クラブが実施する福祉サービスの内容や特性に基づき、使命や目指す方向を明確に示しており、基本方針は職員の行動規範を明示している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、放課後児童クラブの理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
	社員は入社研修において理念と基本方針の説明を受け、正しく理解した上で勤務を開始している。パート従業員に対しても、施設勤務初日に同様の説明を行い、職員会議において定期的に確認するよう周知を図っている。さらに、社外に対してもホームページや施設の見える場所に掲示し、保護者へは入会説明時に口頭で説明を行い、十分な理解を促している。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	当施設では、社会福祉事業全体の動向を具体的に把握し、分析する取組を積極的に行っている。各自治体を本部担当者が専任して巡回し、情報収集を行っている。自治体や学校からの情報だけでなく、全国保育連盟や東京都学童保育協会に参加し、こども家庭庁や自治体への課題や提言を実施している。さらに、全国学童保育連絡協議会の「学童保育情報」を購読し、得られた情報を法人会議等で共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 利用者数・利用者像等、放課後児童クラブのニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、放課後児童クラブが位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に放課後児童クラブのコスト分析や放課後児童クラブ利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や実施する福祉サービスの内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	当施設では、経営環境や福祉サービスの内容、組織体制、設備、職員体制、人材育成、財務状況の現状分析を基に、具体的な課題や問題点を明確にしている。特に最大課題である人材不足に対しては、放課後事業部に専門の採用課を設置し、対応を強化している。現在、保育事業部と人材事業部の採用部門と連携を強化し、経営層が直接採用状況を把握・管理できる体制へと移行している。週次の採用ミーティングには役員が出席し、数字分析や広告代理店からの情報を検証して採用課題を洗い出し、具体的な改善策を実行している。また、経営状況や改善すべき課題については、役員間での共有を徹底するとともに、職員に対しても周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	当施設では、中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確に設定している。会社全体としては3ヶ年計画を軸にしているが、施設は公募プロポーザルによる契約年度の違いにより、計画年度がずれることがあるため、これに対しても柔軟に対応し、施設ごとの事業計画を策定している。事業計画は、保育・育成に必要な運営計画を中心に構成されており、具体的な数値目標や成果を設定して実施状況の評価を行える内容となっている。年度契約の業務委託費をベースに、年間計画に対する月次、週次での見込・実績を集計し、経営の効率化と計画の進捗状況を定期的に確認している。また、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な取組も行っており、週次の採用ミーティングには役員が出席し、採用状況の把握や管理を直接行い、課題を洗い出して改善策を実行している。このように、経営状況や改善すべき課題については役員間での共有を徹底するとともに、職員に対しても周知を行い、全体で課題解決に取り組む体制が整えられている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	当施設では、放課後事業部の単年度計画に基づき、子どもたちの成長に応じた実態に合わせた事業計画を策定している。これにより、時期や学年ごとにねらいを明確にし、適切な行事計画や防災・安全計画を作成している。単年度の事業計画は実行可能な具体的な内容となっており、「行事計画」「防災・安全計画」が立案されている。また、職員全員が計画の内容を理解し、日々の業務に反映できるよう、定期的なミーティングや研修を通じて周知徹底している。今後も引き続き、計画の見直しを行い、継続的な改善を図っていくことが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	当施設では、事業計画の策定において職員の参画と意見の集約を重視している。職員会議や面談を通じて意見を集約し、その年の利用人数や子どもの状態、成長過程を考慮して多方面から検証を行い、事業計画を作成している。計画期間中には、毎月の報告書を作成し、1学期に1度習志野市へ実施状況を報告している。また、職員会議を通じて他の職員とも情報を共有し、意見を集めることで、継続的な改善を図っている。事業計画は、定められた時期と手順に基づいて評価され、その結果に基づいて見直しを行っている。また、事業計画は職員に対して会議や研修会で説明され、理解を促す取組が行われている。これらの取組により、当施設では質の高い福祉サービスの提供を目指し、事業計画の策定・実施・評価・見直しのPDCAサイクルに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

7	② 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	当施設では、事業計画の主な内容や実施状況について、子どもや保護者に対して適切に周知する取組を行っている。学期に1度程度、保護者向けの活動報告会を開催し、事業計画の内容を説明している。理解を深められるように資料や動画を作成し、活動報告会で上映している。事業計画の内容を視覚的に分かりやすく説明することで、保護者がより理解しやすくなっている。また、保護者会等の機会を利用して、事業計画の主な内容を説明している。さらに、掲示板や配布物を通じて、日常的に情報を提供すされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

放課後児童健全育成事業 【共通評価基準】

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
8	① 放課後児童クラブの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく放課後児童クラブの質の向上に関する取組を実施している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブの内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	当施設では、放課後児童クラブの質の向上に関する取り組みを組織的に行い、PDCAサイクル(Plan-Do-Check-Act)に基づいた運営を徹底している。事業部内には質の向上に特化した統括指導監(元小学校長2名、特別な支援が必要な児童に関し大学で講義をされていた専門指導監1名)や看護師を雇用し、研修計画から講師を担いつつ巡回指導を行っている。年間の研修カリキュラムを設定し、外部講師を含めた毎月の研修を実施している。本部には各自治体に1名の専任担当を配置し、日々巡回や自治体対応窓口として施設を支援している。定期的な救命・AED講習やアレルギーの研修も開催し、安全性の確保と質の向上に努めている。毎月の責任者会議やエリア会議では、横のつながりを強化し、事故再発防止や質の向上に向けた取り組みを行っている。事業部の正社員定着率を90%以上の高水準で維持することで、安定した運営を実現している。自己評価は年に1回以上行い、第三者評価も定期的を受審している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的を受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	当施設では、評価結果を分析し、それに基づく課題を明確にする取り組みを組織的に行っている。評価結果や課題は文書化され、職員間で共有されている。また、事業部内には質の向上に特化した統括指導監(元小学校長2名、特別な支援が必要な児童に関し大学で講義をされていた専門指導監1名)や看護師を雇用し、研修計画の作成から講師を担当しつつ、巡回指導を行っている。年間の研修カリキュラムを設定し、外部講師も含めて毎月研修を実施している。また、定期的に救命・AED講習やアレルギーの研修を開催し、職員のスキル向上と安全意識の向上を図っている。毎月の責任者会議やエリア会議では、横のつながりを強化し、事故再発防止や質の向上に向けた取組を行っている。各施設は一つの委員会に所属し、専門性を持って施設の質の向上に資する情報を発信している。また、事業部の正社員定着率を90%以上の高水準で維持することで、安定した運営を実現している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 運営主体の責任が明確にされている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>		標準項目
10	① 運営主体は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、自らの放課後児童クラブの経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、自らの役割と責任について、組織内の広報誌等に掲載し表明している。
	当施設では、運営主体としての放課後児童クラブの経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。これらは自治体の仕様書に基づき、施設および会社組織における自らの役割を具体的に明示している。また、法人および施設長は、自らの役割や責任について職員に伝える場面・方法として定期的な会議や研修で周知を行っている。運営主体の役割と責任を含む職務分掌は文書化されており、これに基づいて会議や研修において表明し、職員への周知を行っている。さらに、有事(災害、事故等)の際の運営主体の役割と責任についても明確に定められており、責任者不在時の権限委任等を含めて防災マニュアル(BCP)に明記されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	平常時のみならず、有事(災害、事故等)における運営主体の役割と責任について、責任者不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	当施設では、運営主体として遵守すべき法令を十分に理解し、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持する取組を行っている。運営にあたって遵守すべき法令等の名称は11-アの実践の記録に記載されており、これらの法令について法人や施設長が参加する法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会を定期的に開催している。 また、職員に対しても遵守すべき法令等を周知し、具体的な取組を行うことで、法令遵守を徹底している。環境への配慮を含む幅広い分野についても、遵守すべき法令を把握し、実践の記録に基づく取組を実施している。 法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加することで、運営主体としての役割と責任を明確にし、職員間での意識共有を図っている。これにより、組織全体が法令遵守に対して高い意識を持ち、適正な運営が実現されている。 今後も継続的に法令遵守に関する取組を強化し、質の高い福祉サービスの提供を目指している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	運営主体は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

II-1-(2) 運営主体のリーダーシップが発揮されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>		標準項目
12	① 放課後児童クラブの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、実施する放課後児童クラブの質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、放課後児童クラブの質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
<p>当施設では、放課後児童クラブの質の現状について定期的かつ継続的に評価・分析を行い、質の向上に努めている。責任者会議では施設長が集まり、各施設の課題や成功例を共有しながら継続的に分析・評価を行っている。</p> <p>また、施設内では、地域や保護者との交流を深めるために積極的にイベントを開催し、保護者面談を行っている。</p> <p>職員の教育・研修についても、幅広い内容で充実したプログラムを提供しており、職員が一社会人としてしっかりと勤務できるよう、あらゆる方面からの教育・研修を行い、スキル向上を図っている。また、定期的なアンケートや面談を通じて職員の意見を収集し、個別の意見を反映する取組も行っている。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	運営主体は、放課後児童クラブの質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	運営主体は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
<p>当施設では、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、「放課後事業部」という専門特化した部門が構成されており、日常の業務改善につながる専門的な管理部門、運営企画、統括指導監や看護師が在籍している。東日本および西日本を統括する本部には、各エリアごとの担当者が配置されており、頻繁に巡回と育成に入ること、課題を施設任せにせず、一体的に改善に取り組む体制が構築されている。このような運営支援の本部が実行力を持つことで、管理・事務にとどまらず、実際の運営支援に直結する体制が強化されている。運営主体は、経営改善や業務の実効性向上に向けて、人事、労務、財務などの観点から分析を行っている。</p>			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	運営主体は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	運営主体は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童支援員の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	当施設では、必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方が確立されており、福祉人材の確保と育成に関する具体的な方針を持っている。運営マニュアルや自治体の仕様書に基づき、放課後児童支援員の配置や必要な福祉人材の確保・定着を図るための計画を策定している。人材確保に関しては、放課後専門の採用課を組織し、会社ホームページや各求人サイトでの広告掲載、広告代理店からの情報収集を含めて計画的に実施している。人材の定着率は数値化され、前年との比較を行い、継続的な改善に取り組んでいる。職員のスキルアップのために職員の研修参加やeラーニングの利用も積極的にやっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブとして、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブの理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	当施設では、放課後児童クラブの理念・基本方針に基づき、「期待する職員像」を明確にしている。セリオイズムや運営規定などに「期待する職員像」を明記し、人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等)を明確に定め、職員に周知している。年度の事業部の目標を基に、個人の年度目標を人事考課表(ターゲットプラン)に定め、年2回の評価を実施している。評価時にはキャリアアンケートを実施し、職員が自身のキャリア相談窓口やキャリアチェンジについての道を提示される機会を設けている。職員の意向・意見を把握し、評価・分析に基づく改善策を実施することで、職員の満足度と業務効率の向上を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができています。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	当施設では、就業規則は明文化されており、職員が常に確認できるようになっている。また、全社の周知については社内メールや社内サイト、人事労務アプリ(スマートHR)を通じて行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認し、職員の就業状況を把握している。社内相談窓口も設置されており、事案によって窓口が変わります。最初の相談先は施設長やエリア担当(本部)となるが多く、担当者は常に傾聴の技術を学び、職員が相談しやすい環境にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすい組織内の工夫をしている。
	福祉人材の確保と定着については、定期的に意向調査や面談を行い、家庭・個人の事情に応じた働き方を提案している。福利厚生の一環として、傷病等による休職からの復職支援制度や育休制度の充実にも取り組んでいる。男性育休や育休中従業員向けのママパパ制度(育休中従業員で集まり、交流や復職支援)等、幅広い職場づくりに取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等組織の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	当施設では、組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人一人の目標管理に取り組んでいる。また、運営マニュアルやセリオイズム、運営規定に「期待する職員像」を明示している。これに基づき、人事基準（採用、配置、異動、昇進・昇格等）も明確に定め、職員に周知している。職員一人一人の目標設定は、個別面接や日々のコミュニケーションを通じて組織の目標や方針を徹底し、目標項目や水準、期限を定めている。目標達成度の確認については、年度当初と年度末に面接を行い、さらに中間面接を通じて進捗状況の確認を行っている。また、個々の目標は人事考課表（ターゲットプラン）に詳細に記載され、年2回の評価を実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18		② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している放課後児童クラブの内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、組織が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	当施設の「期待する職員像」は、法人としての社内規定（就業規程）に明示されており、職員一人一人が理解し、実践できるようになっている。現在実施している放課後児童クラブの内容や目標を踏まえて、職員に必要とされる専門技術や専門資格を基本方針や計画の中に明示している。また、策定された教育・研修計画に基づき、毎月の研修や仕様書の読み合わせ、自治体の研修参加などを通じて職員の教育・研修を実施している。定期的に計画の評価と見直しを行うことで、教育・研修計画やカリキュラムの改善を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	当施設では、個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況を把握するため、入社時より面接を行い、職員の状況を詳細に確認している。基本的な研修（新入社員研修・指導員研修）は知識の状況に関わらず全員が受講し、定期的な面談を通じて習熟度を把握し、個別的に指導を行っている。研修の参加については職員の日程調整も考慮し、動画での研修も用意して勤務中に受講できるよう配慮している。また、社内外の研修に関する情報提供を適切に行い、参加は勤務扱いとし、交通費も全額支給している。さらに職員が参加して事例検討を実施しており、職務や必要とする知識・技術水準に応じた内部研修を行っている。階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員のスキル向上に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ささまざまな職員が参加して、事例検討を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
20	① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の福祉サービスの専門職の教育・育成についてのマニュアルが整備されている。
当施設では、実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成に関する基本姿勢を明文化している。現在、習志野市における実習生の受け入れ実績はありませんが、他エリアにおいてはインターンシップや大学で単位取得が可能な実習、職業体験の受け入れを行っている。 また、本社では九州や北陸の高校から修学旅行の一部として会社訪問を受け入れ、事業説明や高校生とのディスカッションを実施している。さらに、東南アジアから日本語を学ぶ留学生を受け入れている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、放課後児童クラブの理念や基本方針、提供する育成支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブにおける地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
当施設では、ホームページなどを活用して、放課後児童クラブの理念や基本方針、提供する育成支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報を適切に公開している。地域の福祉向上のための取り組みや第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容についても公表している。また、地域との交流においては、子ども教室との連携を通じて行われている。理念や基本方針、活動内容については、自治体や学校を交えた運営協議会で定期的に報告を行っている。地域に向けて理念や基本方針、事業所で行っている活動などを説明した印刷物や広報誌を配布し、放課後児童クラブの存在意義や役割を明確にするよう努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブの理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、放課後児童クラブの存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、児童館で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
放課後児童クラブにおける事務、経理、取引等に関するルールおよび職務分掌と権限・責任を明確に定め、職員に周知徹底している。内部監査については、法務部門による定期的な監査を実施しており、2024年9月には定期監査が完了している。現在、監査結果に基づく改善点について回答する作業を行っており、課題の解決と業務の向上に努めている。さらに、放課後児童クラブの事業および財務については、外部の専門家による監査を定期的に実施している。外部監査の結果や指摘事項に基づいて、継続的な経営改善を図っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブの事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
23	① 放課後児童クラブと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 様々な社会資源(自治会・町内会や民生委員・児童委員(主任児童委員)等の地域組織、放課後子供教室、児童館等)と連携している。
	当施設では、地域の各種社会資源(自治会・町内会や民生委員・児童委員等の地域組織、放課後子供教室、児童館等)と連携し、子どもたちが地域社会と積極的に交流できるよう取り組んでいる。具体的には、子供教室との連携により合同のイベントやプログラムを実施しており、地域ボランティアの受け入れも積極的に行っている。また、警察署による防犯・不審者訓練を実施し、子どもたちの安全確保に努めている。地域の子どもイベントについては、学童としての参加ができないルールがあるため、イベント案内を行うに留まりますが、地域社会とのつながりを維持する努力を続けている。地域との連携を強化し、放課後児童クラブの質の向上を図っているため、今後も継続的に地域社会との交流を深め、子どもたちにとってより良い環境を提供していくことが期待される。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 放課後児童クラブへの理解を得るために、地域の人々と放課後児童クラブとの交流の機会を定期的に設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の利用者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	当施設では、ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化し、地域の学校教育等への協力についても基本姿勢を明示している。ボランティア受け入れについては、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。具体的には、施設長やエリア担当がボランティア希望者と面談を行い、人物のチェックと活動内容の確認を実施している。さらに、施設や支援員としての心得を説明し、ボランティア活動誓約書を提出してもらっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受け入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
25	① 放課後児童クラブとして必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもや保護者等の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	当施設では、地域の関係機関や団体と連携し、個々の子どもや保護者の状況に対応できる社会資源のリストや資料を作成している。職員会議では、これらの情報を共有し、全職員が最新の情報を把握されている。また、関係機関・団体と定期的な連絡会を行い、地域全体での課題解決に向けた具体的な取り組みを協働して実施している。家庭での虐待など権利侵害が疑われる子どもについては、学校と市担当課に報告し、要保護児童対策地域協議会への参画や児童相談所など関係機関との連携を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 家庭での虐待など権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもの発達・生活の連続性を保障するために、情報交換や情報共有、職員同士の交流等により、学校や、保育所、幼稚園等との積極的な連携が図られている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>		標準項目
26	① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブが実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。
コメント					
当施設では、放課後児童クラブが実施する事業や運営委員会の開催を通じて、地域の福祉ニーズや生活課題の把握に努めている。特に、小学校、自治体、子供教室、児童会と連携し、運営協議会を開催している。児童会単独で福祉ニーズを把握する場は少ないものの、運営委託を受けている子供教室がコーディネーターとして地域事業や会議に参加しているため、連携を通じて情報提供を受けている。					
27	② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。
当施設では、近隣公園への徒歩遠足を実施する際にゴミ拾いを行うなどの活動を通じて、地域貢献に取り組んでいる。しかし、これらの活動は主に委託元である習志野市との対話の範囲内で行われており、積極的な公益的的事业活動への参画は限定的なものとなっている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。
現状では、地域の福祉ニーズに基づいた具体的な事業・活動を計画で明示することや、多様な機関と連携して社会福祉分野のみならず地域コミュニティの活性化やまちづくりに貢献する取り組みは行っていない。しかし、放課後児童クラブが有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を地域に還元する取り組みを積極的に進めることが期待される。			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	放課後児童クラブが有する福祉サービスの提供に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。
また、地域の防災対策や被災時における福祉的な支援を必要とする人々への備えや支援の取組も行っていない現状です。今後、地域のニーズを把握し、それに基づいた具体的な事業・活動を計画に明示し、地域社会に対して積極的に貢献していくことが求められる。			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 子どもや保護者等を尊重する姿勢が明示されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
28	① 子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもや保護者等を尊重した福祉サービスの提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	当施設では、運営規定や各種マニュアルを策定し、職員への周知と実践を徹底している。また、子どもや保護者を尊重した福祉サービスの提供に関する「倫理綱領」や規程を策定し、職員が理解し実践するための研修を定期的実施している。子どもや保護者の尊重や基本的人権への配慮については、組織的な勉強会や研修を実施し、職員の意識向上を図っている。県の資質向上研修や市の研修にも積極的に参加し、参加できなかった職員には施設内で研修を行い、情報の共有と認識の統一を図っている。さらに、定期的に状況を把握し、評価を行うチェック機能も整備している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもや保護者等を尊重した福祉サービス提供に関する基本姿勢が、個々の福祉サービスの標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもや保護者等の尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
29		② 子どもや保護者等のプライバシー保護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した福祉サービスが実施されている。
	当施設には、プライバシー保護に関する姿勢・責務を明記した規程が存在し、職員には定期的に研修を実施している。また、プライバシー保護に配慮した福祉サービスを提供するために、施設内で保存している電子データへのアクセスを制限している。PC作業は基本的に正社員が行い、PCはID及びパスワード管理、情報保存先は社内クラウドを利用することで、データの安全性を確保している。事務室内の書棚やキャビネット等で管理している文書の閲覧条件についても、施設内で他者の目に触れないように配慮しており、持ち出しを禁止している。機密文書の破棄方法としては、専門業者に委託し溶解処理を行うほか、自治体へ返却やシュレッダー処理を行っている。また、子どもや保護者等に対してもプライバシー保護に関する取組を周知している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意 (自己決定)が適切に行われている。		評点	☑	標準項目
30	① 利用希望者に対して放課後児童クラブ選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	☑	ア 理念や基本方針、実施する育成支援の内容や放課後児童クラブの特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	コメント		☑	イ 組織を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	当施設では、理念や基本方針、実施する育成支援の内容、そして放課後児童クラブの特性等を紹介した利用案内を、公共施設など多くの人が入手できる場所に設置している。利用案内は、誰にでもわかりやすい言葉遣いや写真・図・絵を用いることで、より親しみやすい内容にしている。また、放課後児童クラブの利用希望者に対しては、入会説明の日を設け、対面で部屋の利用方法から提出書類に至るまで詳しく説明している。見学、体験入所、一日利用等の希望にも対応しており、利用者が実際にクラブの雰囲気を感じ取れる機会を提供している。		☑	ウ 放課後児童クラブの利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			☑	エ 見学、体験入所、一日利用等の希望に対応している。
			☑	オ 利用を希望する子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 放課後児童クラブの利用開始・変更にあたり子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a	☑	ア 放課後児童クラブの利用開始・変更の内容に関する説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	コメント		☑	イ 放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	当施設では、放課後児童クラブの利用開始や変更に関する説明と同意に際して、保護者の意向を尊重し、丁寧な対応を心がけている。利用が決まった利用者には、自治体の利用案内と連動し、施設の詳細な案内を説明会で手渡しし、画像を使用して細かく説明を行っている。 また、個別の案件や家庭の状況については、面談や質問の受付を通じて随時対応を行い、保護者のニーズに応じた対応を心がけている。特別な配慮が必要な子どもについては、自治体のヒアリング内容や施設からの情報を基に個別面談を実施し、適切な説明と運用を図っている。 特に新1年生の環境変化に配慮し、利用開始前に子どもや家庭の状況、保護者のニーズを把握し、放課後児童クラブでの過ごし方について十分に説明し、情報交換を行っている。利用開始や変更時には、保護者の同意を得たうえでその内容を書面で残し、記録を徹底している。		☑	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			☑	エ 放課後児童クラブの利用開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			☑	オ 特に配慮が必要な子どもとその保護者等への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
			☑	カ 特に新1年生の環境変化に配慮して、利用の開始の前に、子どもや家庭の状況、保護者等のニーズ等について、把握確認し、放課後児童クラブでの過ごし方について十分に保護者等に分かりやすく説明し、情報交換をしている。
32	③ 評価外			
Ⅲ-1-(3) 子どもや保護者等の満足度の向上に努めている。		評点	☑	標準項目
33	① 子どもや保護者等の満足度の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	☑	ア 子どもや保護者等の満足度に関する調査が定期的に行われている。
	コメント		☑	イ 子どもや保護者等への個別の相談面接や聴取、懇談会が、子どもや保護者等の満足度を把握する目的で定期的に行われている。
	当施設では、年間に1回、市が主催する満足度調査を実施し、保護者からの意見を収集・分析している。また、今年度は社内でも利用者アンケートを行っており、アンケート結果をフィードバックし、具体的な改善を図っている。これにより、子どもや保護者の満足度を高めるための取り組みを強化している。 個別の相談面接や懇談会も定期的にも実施し、子どもや保護者の満足度を把握するための機会を設けている。これにより、個別のニーズや意見を直接聴取し、対応策を検討している。		☑	ウ 子どもや保護者等の満足度に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子どもや保護者自身の参画のもとで検討会議の設置等行われている。
			☑	エ 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

Ⅲ-1-(4) 子どもや保護者等が意見等を述べやすい体制が確保されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>		標準項目
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。
	当施設では苦情解決の体制を整備しており、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員の設置を行い、苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物を掲示し、資料を配布している。苦情の申し出方法として、日々の連絡帳、電話、対面、利用者アンケート、メールなど複数の窓口を設けており、子どもや保護者が苦情を申し出しやすい環境を整えている。苦情内容の受付と解決を図った記録は適切に保管し、検討内容や対応策についても子どもや保護者に必ずフィードバックしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、子どもや保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た子どもや保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 子どもや保護者等が相談や意見を述べやすい環境を整備し、子どもや保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもや保護者等が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもや保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	当施設では、子どもや保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成し、その文書を配布するとともに、分かりやすい場所に掲示している。日常的なものについては連絡帳や電話、メールでの対応を行い、特定の問い合わせについては、事前に周知し時間や部屋を調整して対応している。一次対応はすべての職員が行い、その後社員報告を経て、最終的には施設長から本部へ報告が行われている。状況によってはエリア担当が対応に当たることもあり、どのケースでも迅速に対応できる体制を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36		③ 子どもや保護者等からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもや保護者等の意見を積極的に把握する取組を行っている。
	当施設では職員は適切な相談対応と意見の傾聴に努めるため、定期的に研修を受け、対応スキルを向上させている。意見箱の設置やアンケートの実施など、子どもや保護者の意見を積極的に把握する取組を行っており、連絡帳の利用方法についても周知している。相談や意見を受けた際の記録方法や報告の手順、対応策の検討などについて定めたマニュアルも整備されており、迅速かつ適切に対応できる体制を整えている。意見や相談については、即日回答できるものについてはその場で対応し、時間を要する場合は1週間以内を目処に回答している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	意見等にもとづき、放課後児童クラブの質の向上に関わる取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア リスクマネジメントに関する責任者を明確化するなどの体制を整備している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	当施設では、リスクマネジメントに関する体制を整備し、施設長を責任者としている。事故発生時の対応と安全確保に関するマニュアルを整備し、安全・防災・不審者などの各種対応を明確にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
	職員に対しては、安全確保・事故防止に関する研修を行い、常に最新の知識と技術を習得させるよう努めている。事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性については、定期的に評価・見直しを行い、必要な改善を続けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集については、地域の情報を自治体担当課や青少年センターから収集し、社内でも常に情報を収集している。担当課長・責任者会議などで事例を周知し、職員全体で共有している。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。
38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	当施設では、感染症対策についての責任と役割を明確にし、管理体制を整備している。感染症の予防と発生時の対応マニュアルを作成し、職員に周知徹底している。事業部の看護師からは「ほけんだより」が発行され、社内全体で情報共有を行うとともに、個別に対策やアドバイスも行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
	定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会を開催し、職員の知識と対応能力を向上している。チェックリストの内容確認や実際のフロー確認などを常に行い、感染症予防策が適切に講じられている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 感染症の予防策が適切に講じられている。
	直近では新型コロナウイルスの対応を実施しており、自治体や社内担当課への連絡体制を整え、当該児童の隔離や施設の消毒などを適切に行った。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 災害時の対応体制が決められている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、福祉サービス提供を継続するために必要な対策を講じている。
	児童の安全確保に関しては、小学校へ避難経路・場所の確認を行い、地域のハザードマップを用いて自治体担当課と連携している。災害発生時には、出欠状況を基に児童の所在確認を行い、安全な場所へ避難します。職員についても勤務表を基に所在確認を行い、全職員(休暇中の職員も含む)については安否確認システムを活用して全社で確認している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
	さらに、保護者が災害により帰宅困難となった場合には、基本的に施設が児童を預かり、迎えを待つ体制を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 防災計画等を整備し、地元の行政をはじめ、学校、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。
	防災計画等を整備し、地元の行政や学校、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携して訓練を実施している。不審者訓練については、習志野警察署の指導のもと、職員と児童が共に参加している。		<input checked="" type="checkbox"/>	オ 保護者等が災害により帰宅困難となった場合の対応方法が決められ、保護者等と共有されている。

**放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】**

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 育成支援の標準的な実施方法が確立している。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
40	① 育成支援について標準的な実施方法が文書化され育成支援が提供されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	当施設では、育成支援の標準的な実施方法を適切に文書化し、職員全員に周知徹底している。新規で採用された全職員には「素敵な指導員になるために」という社内冊子を配布し、月に一度の研修で基本的な育成支援について学んでいる。研修後にはレポート（アンケート）を提出することで、学んだ内容を振り返り、自らの成長を確認している。この研修は短期や臨時的に採用された職員にも行われている。 標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されており、職員が実施方法を確実に理解し、実践できるよう研修や個別指導を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的を実施されている。
	当施設では、育成支援の標準的な実施方法をマニュアル化しており、法人本部では学童保育のガイドラインの作成を計画している。育成支援の実施方法の見直しについては、最近では新型コロナウイルスの感染症対策に関連して、育成支援内容が大きく見直されました。対策の緩和により、育成支援内容の調整が行われており、自治体の指示や指導を基本として、必要に応じた見直しを行っている。また、標準的な実施方法が適切に実施されているかどうかの確認は、面談やアンケート調査を通じて、実施状況を確認している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 検証・見直しにあたり、育成支援の計画の内容が必要に応じて反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 検証・見直しにあたり、職員や子どもや保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 子どもに対する育成支援の計画が策定されている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
42	① 育成支援の計画を適切に策定している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の計画策定の責任者を設置している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の計画には、子どもの具体的なニーズが明示されている。
	子どもたちのニーズは、児童会会議や各種イベントの実行委員から直接聞き取り、日常的な意見も取り入れることで計画に反映させている。計画が適切に実施されているかの確認は、随時会議や本部との面談を通じて行われている。また、エリア会議では、支援計画の実施状況を報告し、中身の検証も行っている。 障害のある児童や特に配慮を必要とする児童に対しては、個別支援計画や自治体のヒアリングシート、施設の保護者面談を通じて、支援方法を定めている。支援が必要な児童については、運営協議会や学校との情報共有を行い、支援のずれが生じないようにしている。また、自治体担当課の巡回職員や本社の専門社員への相談を行い、巡回指導やアドバイスを受けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 育成支援の計画を策定するため、職員の合議と子どもの意向把握の手順を定めて実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 育成支援の計画どおりに育成支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 障害のある子どもや特に配慮を必要とする子どもへの対応について検討し、積極的かつ適切な育成支援の提供が行われている。
43	② 定期的に育成支援の計画の評価・見直しを行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 育成支援の計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握を行うための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 見直しによって変更した育成支援の計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	当施設では、育成支援計画の見直しを随時行い、その時々状況や事案に応じて内容を変更している。 子どもたちのニーズについては、満足度調査やその他のアンケート結果を通じて、課題を明確にしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 育成支援の計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、育成支援を十分に提供できていない内容（ニーズ）等、育成支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。

放課後児童健全育成事業
【共通評価基準】

Ⅲ-2-(3) 育成支援実施の記録が適切に行われている。		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	標準項目
44	① 子どもに関する育成支援実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの身体状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって把握し記録している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 育成支援の計画にもとづく育成支援が実施されていることを記録により確認することができる。
	当施設では、子どもの身体状況や生活状況を組織が定めた統一した様式に基づいて把握し記録している。児童会の申請書や健康カード等を通じて保護者から得た情報を活用している。育成支援の記録は毎日の育成日誌や支援日誌に詳細に記載されている。職員間で記録内容や書き方に差異が生じないよう、記載例を作成し、口頭での説明を行っている。初めて記録を作成する職員にはベテラン職員がフォローし、適切な指導を行っている。施設内の情報は職員の引継ぎノートを利用して、これまでの振り返りや事務連絡をいつでも確認できるようにしている。さらに、事業所内での情報共有は会議議事録に加え、日報の提出を義務付けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 組織における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 事業所内で情報を共有する仕組みが整備されている。
45	② 子どもや保護者等に関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個人情報保護規程等により、子どもや保護者等の記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
	当施設では、個人情報保護規程を定め、子どもや保護者の記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を設けている。職員には個人情報保護の観点から教育や研修を行っている。また、全社で個人情報理解度チェックを実施しており、労務管理のアプリを通じて全員に回答を義務付けている。子どもや保護者への個人情報の取扱いについては、入所時に説明を行い、適切な対応を徹底している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。

放課後児童健全育成事業版 【内容評価基準】

貴事業所の実態やサービスの質については、コメントに記載しています。

【評点基準】

- 「a」…… 標準項目をすべて満たした状態
- 「b」…… 標準項目をひとつでも満たしていないものがある状態
- 「c」…… 標準項目をひとつも満たしていない状態

A-1 育成支援

A-1- (1) 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境の整備		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
A①	① 子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 生活の場としての機能を満たすための設備及び備品等を備えている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 遊びを豊かにするために必要な遊具及び図書を備えている。
	児童会で使用できる部屋は二部屋あり、適度に人数を分散させて過ごすことができる。一つはブレイルームとして、ゴムボールでのドッジボールなど、子どもが体を動かして遊ぶ活動にも使用している。学校の特性上、支援級児童の利用も多いため、有資格者を適切に配置し、必要な時に必要な支援ができるように体制を整えている。学習時間は毎日設定しており、宿題に取り組むことを習慣化できるように支援している。高学年は6時間授業のため、なかなか固定の学習時間を設けることが難しいが、低学年時に培った学習時間が習慣化され、おやつを食べた後の食休みの時間に自ら宿題に取り組む姿が見られている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 発達段階に応じた遊びと生活の環境を備えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 体調が悪いときなどに静養できるスペースが確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 自習等の学習活動ができる環境を整えている。
A-1- (2) 放課後児童クラブにおける育成支援		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
A②	① 子どもが放課後児童クラブに自ら進んで通い続けられるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 入所時や長期休み前等に、子どもが放課後児童クラブでの過ごし方を理解できるように工夫している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの様子と育成支援の内容を日常的かつ継続的に保護者に伝えている。
	入会前には必ず入会説明会を実施している。特に環境変化が苦手な子どもには個別に施設見学を受け入れ、実際に子どもたちが過ごしている様子を見学する機会も設けている。夏休みなどの長期休み前は、保護者に向けて一斉メールを配信し、登室時間、お弁当の持参、学習時間の過ごし方などを周知している。同じ小学校に放課後子供教室が併設されているため、家庭状況や子どもの成長具合に応じて、放課後の過ごし方を柔軟に選択することができる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブに通う事の必要性について、保護者と共に子どもの気持ちに寄り添いながら理解を促している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保護者が年度途中の転居以外で退所を検討している際、その理由を把握し、対応を行っている。
A③	② 子どもの出欠席を把握し、適切に援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの出欠席について、保護者からの連絡であらかじめ確認している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの出欠席について、当日の変更についても確認できるようにしている。
	入会説明会時には、出欠確認の方法を保護者に丁寧に伝えている。毎日持参する連絡帳には、保護者から帰宅方法や時間、中抜けがある等を記載してもらい、帰宅管理の徹底を図っている。子どもの入退室システムを導入していることにより、保護者も出欠確認アプリから出欠席連絡が可能となっている。欠席の際は事前に保護者がアプリから入力できるため、スムーズな出欠確認に繋がっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもが保護者からの連絡なく欠席したり来所が遅れたりした場合に、速やかに状況を把握し対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの所在が把握できない場合の対応を検討し、あらかじめ保護者へ伝えている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-1-(3) 子ども一人ひとりと集団全体の生活を豊かにする育成支援		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
A④	① 子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブでの過ごし方は、できるだけ簡潔でわかりやすいものとし、子どもが理解できるようにしている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子ども一人ひとりにとって無理のない過ごし方となるよう配慮しながら、子ども全体に共通するおおまかな過ごし方や生活時間の区切りをつくっている。
	子ども自身が見通しを持って過ごせるように、児童会室にはその日のタイムスケジュールを表示している。子どもたちは、タイムスケジュールを確認し、集団活動や個人の自由時間など、したい遊びを選びながら過ごしている。おやつの進行・挨拶、帰りの会等は日直の子どもが担当し、集団行動の意識づけを行っている。日々のプログラム、季節イベントの活動においては、グループ活動を意図的に取り入れ、主体性、協調性等を育む機会としている。不定期ではあるが、子どもたちと話し合う機会「児童会会議」を設け、児童会内のルール作りを行っている。過去には「学習時間の過ごし方」「プレイルームの使い方」「タブレットPCの使い方」を話し合っている。子どもたちから出た意見を踏まえ、ルール作りを行い、子どもが主体的にルールに則って行動できるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもと話し合いながら、遊びや生活の流れや内容を柔軟に活用して子どもが放課後の時間を主体的に過ごせるように援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもが集団の中での過ごし方について自分自身で考えられるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	放課後児童クラブにおける過ごし方や生活時間の区切り等を保護者に伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	学校が長期休みとなる期間には、夏休み等ならではの過ごし方や活動の工夫や配慮を行っている。
A⑤	② 日常生活に必要となる基本的な生活習慣を習得できるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日常生活に必要となる基本的な生活習慣の内容を、子どもが理解できるように伝えている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康や衛生に関すること(手洗いやうがい、衣服の着脱等)が身につくよう援助している。
	おやつ前や外遊び後等は手洗い・うがいの声掛けを行っている。気温が高く、汗をかくような季節は適宜着替えを行えるように支援し、汗を拭くタオル等を持参することを保護者にも呼びかけている。週末は各自ロッカー内の荷物を持ち帰ることを習慣にし、持ち物の管理や整理整頓に繋げている。毎日行う帰りの会では、「風邪をひかないようにするには」「汗を拭かないとどうなる」「片付けをしないとこの部屋の中はどうなる」など、様々な習慣に関する話を子どもたちに投げかけ、基本的な生活習慣が身につくよう援助している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	持ち物の管理や整理整頓等の生活習慣が身につくよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもたちが集団で過ごすという特性を踏まえて、集団生活を維持するための活動を分担・協力することを理解できるよう工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	一人ひとりの発達状況に応じた援助とともに、取り組みやすい環境の工夫をしている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A⑥	③ 子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども一人ひとりについて、その発達の状況や養育環境の状況等を把握する必要性を理解している。
コメント		<input checked="" type="checkbox"/>			
毎日職員ミーティングを行い、前日の子どもの様子、保護者からの連絡事項を共有した上で子どもたちの受け入れを開始している。子どもたちから出てくる他愛のない会話、言葉遣いにはよく耳を傾け、今の子どもたちの心身の状況を拾い上げることを職員全体で心掛けている。そのため、子どもの姿の共有はエピソードを交えながら行っており、職員間での子ども理解に繋げている。内容により保護者に共有し、子どもの成長に繋がるように支援している。体調不良や癩癩を起しクールダウン等が必要な子どもがいた場合はプレイルームを静養室として適宜活用している。		<input checked="" type="checkbox"/>			
		ウ	子どもの来所時には、子どもが安心できるように迎え入れ、子ども一人ひとりの心身の状態を把握している。		
		エ	一人ひとりの子どもの普段の健康状態や心身の状態についての特徴を把握し、放課後児童支援員等の間でその情報を共有している。		
		a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども同士で遊びを作り出せるような時間や環境を整え、自発的に遊びを展開できるように援助している。
A⑦	④ 子ども同士の関係を豊かに作り出せるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子ども同士で遊びを作り出せるような時間や環境を整え、自発的に遊びを展開できるように援助している。
コメント		<input checked="" type="checkbox"/>			
子どものけんか、対立は気持ちのすれ違い、想像力の欠如、自分本位等々が背景にある。このような場面は子どもたちにとって学びの瞬間と認識して援助している。双方の話を冷静に聞きながら、時系列を整理する支援をし、子ども自身が冷静になって改めて考える時間を作ることで、友だちへの配慮、欲求をコントロールすること、思いを言葉にすること、伝わりやすい言葉遣いなどを学ぶ機会にしている。毎日の職員ミーティングでは、子どもたちの様子を振り返り、けんか、対立を仲裁した経緯を職員間で共有することで、全職員の支援力の向上を図っている。必要に応じて関係各所に報告し、連携を取りながら育成していくことに努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>			
		イ	意見の対立やけんか等について、お互いの考え方の違いに気付くこと、葛藤の調整や感情の高ぶりを和らげること等ができるよう援助している。		
		ウ	子ども間でいじめの関係が生じないよう配慮している。		
		a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、子どもの意見を尊重している。
A⑧	⑤ 子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は子どもの情緒や子ども同士の関係にも配慮し、子どもの意見を尊重している。
コメント		<input checked="" type="checkbox"/>			
子どもが自分の気持ちを表現できるようになるまでには個人差があるため、子どもの成長過程を捉えた支援に努めている。また、伝えたい相手との信頼関係も重要な要素であるため、職員が子どもとの信頼関係を築くために、子どもとたくさん関わり、一緒に遊ぶなかで他愛もない会話を積み重ねることから始めている。信頼関係を築くためには日々の努力が必要であり、何気ないことの積み重ねが大切であると、日々の職員ミーティングで周知している。行事活動をする際は、実行委員等を設け、子どもたちから有志を募っている。みんなが楽しめるように力を尽くすこと、話し合いの中で作り上げていくことを経験できるように取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>			
		イ	子どもが放課後児童支援員等に悩みや相談事も話せるような信頼関係を築くように努めている。		
		ウ	行事等を行う際は、子ども同士が意見を出し合う機会を設けている。		
		エ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子どもと保護者に活動の目的や大まかな内容を説明している。		
		a	<input checked="" type="checkbox"/>	オ	子どもが運営に関わる行事等の活動を行う際には、子ども自身が運営に関わる際の段取り等を伝えている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-1-(4) 固有の援助を必要とする子どもへの適切な育成支援		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
A⑨	① 障害のある子どもの受入れの考え方を理解したうえで、受入れに努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	障害のある子どもの利用機会の周知を行っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	受入れの判断について、あらかじめ判断の基準や手続等を定めている。
	入会説明会時には、個別に子どもの様子や特性等をヒアリングしている。また、事前に希望があれば施設見学等を受け入れ、実際に子どもたちが過ごす様子を見てもらい、我が子が過ごすイメージが持てるようにしている。自治体からも面談報告を受け、どのように支援していくことが望ましいか検討し、その後の経過等を必要に応じて相談している。有資格者の職員を配置し、特性などを考慮しながら受け入れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	障害のある子どもの受入れにあたっては、障害特性を理解した上で、子どもや保護者との面談の機会を持つなどして、子どもの健康状態、発達の状況、家庭の状況、保護者の意向等を個別に把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	障害のある子どもの、個々の状況に応じた施設設備や育成支援の内容、職員体制等の環境の整備に関する配慮等を行っている。
A⑩	② 障害のある子どもの育成支援に当たっての留意点を踏まえ、育成支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	障害のある子ども一人ひとりの状況や育成支援の内容を記録している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	記録した内容を、放課後児童支援員等の間で共有している。
	障害のある子どもの様子については育成日誌に記録するとともに、毎日の職員ミーティングで共有している。全職員で見守ることを心掛け、全員が同じように対応できるように共通認識を持てるよう成功体験なども交えながら子どもの姿を共有している。小学校に併設している子供教室での様子も子供教室協議会などを通じて共有し、連携できるよう努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	障害のある子どもの育成支援について事例検討する機会を持っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	学校を含む他機関との連携を図っている。
A⑪	③ 特に配慮を必要とする子どもへの対応に当たって、関係機関と連携して適切な支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童支援員等は、子どもの家庭環境についても配慮し、家庭での養育等について特別な支援が必要な状況を把握した場合には、市町村や関係機関と連携して適切な支援につなげている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	放課後児童クラブでの生活に特に配慮を必要とする子どもの支援に当たっては、保護者、市町村、関係機関と情報交換を行い、連携している。
	障害の有無とは別に家庭環境等に配慮が必要な児童については、育成日誌に日々記録をしている。家庭環境の影響等が子どもから表現されている時は、法人のエリア担当者に相談し、自治体、学校へ報告するかどうかを協議している。施設の早計な判断ではなく、総合的に考慮した判断をするような体制を構築している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	児童虐待を発見した後の市町村等への通告の手順や、緊急性があると思われる場合の対応と手順についてあらかじめ定めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	要保護児童対策地域協議会及び関係機関の構成員となるなど、関係機関と連携、協力できる体制を構築している。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-1-(5) 適切なおやつや食事の提供		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
A⑫	① 放課後の時間帯におやつを適切に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	放課後児童クラブとしてのおよつたの役割を考慮して、およつたの提供時間や方法等を工夫している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもたちの状態等を考慮して、およつたの内容を工夫している。
	およつたの時間になると、日直担当の子どもがおよつたの進行をしている。およつたの受け取りは班ごとに行い、食前食後の日直による号令など、子どもたち同士でルールを守りながらおよつたの時間を楽しんでいる。食事のマナーや食べる際の注意点等も日々職員が伝えながらおよつたを提供している。誕生日会や夏祭り、クリスマス会等のイベント時は特別なおよつたを用意し、子どもたちも楽しみにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	落ち着いた環境でおよつたを楽しめるようにしている。
A⑬	② 食に伴う事故(食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等)を防止するための対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に伴う事故(食物アレルギー事故、窒息事故、食中毒等)の緊急時対応のマニュアルを整備し、全職員に周知している。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	すべての子どものアレルギーの有無を利用開始までに調査し、アレルギーのある子どもについては全職員で情報を共有している。
	子どものアレルギーの有無は、事前に入会申請書の記載事項を確認した上で、該当者の保護者に詳細をヒアリングしている。入会説明会では、食物アレルギーがある場合は家庭からおよつたを持参してもらうことをお願いしている。現在、エピペン所持者は在籍しておらず、全員に通常提供を行っている。社内研修の中でエピペン研修が定期的に開催されており、全職員が受講できるようにしている。およつた提供前には「およつた賞味期限チェック表」に品名と賞味期限を記載し、先日と提供日のダブルチェックを行い、期限切れのものを提供しないように厳重に管理している。その他、提供方法については自治体ルールに則して行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	食物アレルギーのある子どもへのおよつたや食事の提供について、対応方針を定め、定期的に保護者と相談し決定して調整を行ったうえで、子ども・保護者と緊急時の対応を共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食物アレルギー等の対応方法に関する基本的な事項について、定期的に訓練を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	窒息事故等がないよう、安全確認を徹底し、危機管理体制を整えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食中毒防止のための点検項目を定めている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-1-(6) 安全と衛生の確保		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
A⑭	① 子どもの安全を確保する取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 毎日子どもが来所する前までに、施設整備や遊具等の安全点検、整理整頓、清掃等を行っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 安全管理に関する点検について、点検項目、点検頻度、点検者を定め、定期的に点検を行っている。
	子どもが来所する前に、玩具の整理整頓やトイレの清掃、教室の清掃などを行い、衛生管理に努めている。子どもの入退所については、入退室システム及び連絡帳による管理を行い、帰宅管理の徹底を図り「帰所ミスゼロ」を目指している。子どもの怪我や事故があった際は保護者へ連絡するとともに、自治体や学校へも報告し、連携を図っている。軽度の怪我、一時的な体調不良であれば「怪我・疾病報告書」を記入し、怪我・疾病概要を保護者に知らせている。子どもたちの帰宅経路については、経路図を徴収し、おらず自宅までの正確なルートは把握できていない。今後、法人独自で帰宅経路記入用紙を作成し、各家庭から提出してもらうことが必要と感じているため次年度の受入れから行えるよう期待したい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 放課後児童クラブにおける事故やケガの防止や発生時の対応についての方針を策定している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの来所経路や帰宅経路における安全確保について、計画及びマニュアルを作成し、保護者に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域組織や子どもに関わる関係機関等に、子どもの来所・帰宅の経路等を伝え、地域の人々の理解と協力を得られるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもの主な行動範囲を中心とした地域の中での子どもの行動や環境を把握している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 子どもの病気やケガの場合、保護者と連絡をとれるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 事故やケガが発生した場合、その発生時刻や場所、その内容や対応の経過について正確な時刻の記述も含めて記録している。
A⑮	② 衛生管理に関する取組を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設整備の衛生に関して、点検項目、点検頻度、点検者を定めている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 衛生管理に関する点検を定期的に行っている。
	施設整備の衛生に関して、点検項目、点検頻度、点検者を定め、職員ミーティングでも確認しながら、清潔な環境が保てるように努めている。季節が変わるタイミングでエアコン、換気扇清掃、カーテン洗濯等を実施している。食事前後は子どもたちが机を拭くことを習慣にしている。咳込んでいる子どもには、必要に応じてマスクを配布し、子どもの体調管理・衛生管理に努めている。職員は、身だしなみチェック表をもとに髪の色や爪、髭、化粧品、装備品などの基準を確認し、業務にあたっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもと共に日常の衛生管理に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもが調理や準備をする際の衛生管理を徹底して行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 放課後児童支援員等の手洗いや爪切り、消毒等の衛生管理を徹底している。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-2 保護者・学校との連携

A-2-(1) 保護者との連携		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
A⑩	① 保護者との協力関係を築いている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子育てのこと等について保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心掛けている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保護者が放課後児童クラブの活動や行事に参加、協力する機会を設けている。
	保護者対応時は明るく爽やかな挨拶で出迎えている。保護者からの相談は随時受け付けており、電話、連絡帳、メールどれも対応している。今年度は希望制で保護者面談を実施し、予想を上回る多くの保護者が参加している。保護者面談では、児童会での様子や保護者の子どもへの思い、今後の期待する成長等を共有している。年1回土曜日に保護者参加の大掃除を実施している。子どもと一緒に参加する家庭もあり、保護者も子どもが働く姿を見ることができ、職員も保護者とコミュニケーションを図る良い機会になっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保護者会や保護者が参加する活動や行事の機会を工夫して、保護者同士の交流の場を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保護者が放課後児童クラブの運営に協力する関係を築いている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 宿題への対応について、保護者と共通の理解を持てるようにしている。
A-2-(2) 学校との連携		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
A⑪	① 子どもの生活の連続性を保障するため、学校との連携を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの生活の連続性を保障するための学校との情報交換や情報共有を日常的に図っている。
	コメント		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 毎日の子どもの下校時刻や学校の行事等の予定について、学校と情報交換し、連携している。
	学校との連携については、学期ごとに協議会を開催し、情報共有が図られている。この協議会には、学校・自治体・放課後子供教室・放課後児童会が参加し、子どもたちの様子、施設設備に関すること、緊急時の対応等を協議している。突発的に起こる事案については、その都度窓口である教頭先生を訪問し、報告・相談を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの来所経路や帰宅経路における緊急時の連絡方法について、学校と情報交換し、連携している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもに関する情報を提供をしたり情報を得たりする際の、個人情報の保護や秘密の保持についてあらかじめ学校と取り決めていく。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもや家庭の状況に変化や問題が生じた際には、連絡調整ができる関係を学校と構築している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 学校との連携に関する担当者を置いている。

放課後児童健全育成事業版
【内容評価基準】

A-3 子どもの権利擁護

A-3-(1) 子どもの権利擁護		評点	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
A⑩	① 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 職場倫理を具体的に明文化している。
コメント			<input checked="" type="checkbox"/>	イ 放課後児童クラブにおける虐待等の子どもの心身に有害な影響を与える行為の禁止と早期発見について、明確な規定を設けている。
子どもの権利擁護に関する取組については、就業規則に職場倫理について明示している。職場倫理について示した書類は書庫などで管理され、入社時研修等で共有を行い周知徹底している。職員による子どもの権利侵害や虐待とみなされる行為の禁止については、研修を行うとともに、日常の職員ミーティングなどでも扱い、常に意識を持って保育に当たれるようにしている。権利侵害の早期発見、対応については、社内・自治体にてフローが決められており、学校とも連携し、発見から通報、解決に至るまでを迅速に行うとしている。子どもに影響のある事案については、子どもが意見を述べる機会を作り、内容によって個別対応や全体指導なのかを見極めたうえで慎重に行っている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職場倫理を研修等で共有し、遵守状況を確認している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員による子どもの権利の侵害や虐待とみなされる行為の禁止について研修等を実施し、職員間で共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 権利侵害の早期発見と対処のための具体的な取組を定めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもに影響のある事柄について、子どもが意見を述べ、参加することを保障している。